

# 未来寺子屋

かわらばん

7月28日(日)「まちづくりイノベーションスクール@安城 2019 未来寺子屋②」として、本證寺周辺の史跡公園整備に向けた先進事例視察に出かけました。午前中は美濃加茂市のアウトドア公園「RIVER PORT PARK」、午後からは名古屋市史跡公園「歴史の里しだみ古墳群」の2施設へ。参加者は、市民や事務局スタッフも含めて36人でした。

## おでかけバスツアー「先進事例視察」へGO!

### 1 RIVER PORT PARK (美濃加茂市)

**大塚さん/美濃加茂市土木課**・・・川とまちをつなぎ賑わいを持たせようという国の制度に乗って行った美濃加茂市の整備事業。2年間かけて市民の皆さんと話し合い、どんな施設にするか考えました。ソフト→ハードの順で使う人の視点から必要なものやここで何をしたら楽しいか？をすごく考えました。



オープンは昨年4月。来場者は予想をはるかに超えて1年で11万人。昔、川で遊んだ世代の人達のキラキラした思いが今の若者にも受けているんだと思います。

森の部分(約8ha)は個人の土地を市が無償で借り受けています。人が立ち入れないぐらいの繁みだったのですが、藤井さんがボランティアで約4年くらいかけて、ほぼ一人で草木を刈り続け、こんな素敵森になりました。艇庫の一角には、施設のクリーンパートナー制度に登録してもらった人が使える拠点を確認。自然と人が集まって交流できる場所になっています。

バーベキューエリアとカフェ、艇庫の一部(約3ha)を「指定管理者制度」で民間企業に管理運営を委託しています。民間のノウハウでここを盛り上げるイベントをたくさんして、人を寄せて儲けてもらうことで運営を成り立たせてもらっています。



**藤井さん/ボランティアで森づくり**・・・公園の管理道路ができた時、いい道ができたのに葛や雑草で荒れた状態だったので、それではいかんとして草刈りをするように。そのうち、木が鬱蒼として薄暗いということで木も切るように。国交省にお墨付きももらって。何百本もの木を切った自分のチェーンソー2台、草刈り機2台を壊し・・・市が買ってくれることに。燃料代も最初は自分の小遣いでやっていたけど、市が実費を出してくれるようになりました。まだこの奥が3分の1くらい残っているので、徐々にやっつけていこうと思っています。今年来た人が来年来て「去年より良くなったね」と言ってもらえるような「進化する公園」を目指しています。

**飯田さん/指定管理者(有)EAT&LIVE**・・・

郡上でラフティングやキャンプ場を運営している会社です。郡上では18歳以上しか入れないキャンプという尖ったやり方でやっています。こういう感じでBBQしたりイベントをしたり・・・人を呼ぶことには自信があります。

たくさんのお客さんに来ていただくために大事にしているのは丁寧な接客と、認知度を上げるためのSNS。写真スポットをつくったり、スタッフがお皿を下げる時に「写真を撮りましょうか」とお声掛けしたり。スタッフの写真技術を上げる講座もしたりしています。



### 「RIVER PORT PARK」の感想・気づき・発見

- ・自然が多く、のびのびしていて、とても良かった
- ・若い人が多く、活気あふれる感じ
- ・身近な施設としてイベント等も多く楽しめそう
- ・市、指定管理者、ボランティアが「三位一体」となっている。お互いの信頼関係があるのが素晴らしい
- ・どうしたら楽しいことができるかを考えることから出発
- ・運営に携わる人達のこの場所に対する思いを感じた
- ・ボランティアの方の自由な発想で森を作り上げている
- ・初めから完成させない「進化する公園」
- ・カッコイイ、オシャレ、もポイント!

# 2

## 歴史の里 しだみ古墳群 (名古屋市)

濱口さん/名古屋市教育委員会 文化財保護室 (ガイド) …



名古屋市内に古墳が約 200 基。その内 66 基が上志段味地区に確認されていて現存は 33 基。

この施設は、区画整理事業で古墳群がつかされそうになったことを機に、名古屋市が古墳と自然を守るためのガイドンス施設として整備したもので、小さいお子様から小学校高学年まで楽しんでいただけるように、写真やイラスト、実際に触れる埴輪といったように、様々な工夫を施しています。

体験活動室では勾玉づくりや埴輪づくりなどの日替りのプログラムを、子どもや大人に体験していただいています。月に 1 回は専門的な講演会もしていて、毎回 100 人くらい来ていただいています。

10 月の発掘調査は一般参加者を募集中。夏の間は、楽しく学べるリアル謎解きゲームもしています。集客イベントとしていろんな行事を開催しています。

若い方には、VR・AR で石室の中の様子を見ることができたり、ロールプレイングゲームができる「Go! Go! しだみ古墳群」が人気です。QR コードをかざすと外国語の解説も聞けます。

今年 4 月 1 日にオープンしたばかり。約 4 か月ですすでに 6 万 8000 人の方に来ていただいています。

**Q: ガイドボランティアの募集はどのように行いましたか？**

**A:** 展示室の案内、古墳の案内、体験コーナーのボランティアさんもありますが、こういう人材が大事だなと、広く募集させていただき、約 100 名くらい集まりました。常時 30 名くらいいます。

スキルアップ研修は今のところしていませんが、聞かれてわからなかったことは学芸員が回答集をつくってボランティア室に用意しているので、ガイドの方はそれを見て勉強していただくようになっています。



**Q: 入館者を増加維持するために意識していることは？**

**A:** 古墳というマニアックな世界なので、飽きられないよう、工夫して多様なイベントをしています。例えば、古墳型の鉢の上に寄せ植える講座をしたりと、古墳に限らず、古墳に関連するものは、どんどんやっております。

**Q: 公園整備にあたり意識したことは？**

**A:** 子どもでも分かりやすいようにすることや遊べるスペースの確保、障がい者でも来園しやすいよう配慮しました。

<b>視察から、本證寺周辺整備に活かしたいこと</b>	若者・ファミリーに親しまれる公園にしたい！	小学生以上を対象にじっくり歴史を学べる場
人と人が集まるふれあう仕組み	自然との共生を考えたい！	民間事業者ががんばれる仕掛けが必要！
お寺であることを活かした心のある公園	何を売りにするか、コンセプトを明確に！	地域の人が自由に入れることで活性化！

**「歴史の里しだみ古墳群」の感想・気づき・発見**

- ・小学校高学年にターゲットを絞っている潔さは好感
- ・さわる、身に付ける、つくる、遊ぶの構成も Good
- ・新しい機器をフルに利用した体験でき目に見える展示
- ・飽きられないような工夫。毎日体験イベントあり
- ・発掘調査の参加イベントは面白い
- ・もう少し自然らしくても良いかな
- ・ボランティアや指定管理者、行政との連携が大切
- ・地元を大切にしていた。開放感が人を呼んでいる
- ・よく周知・宣伝されている



**第3回 未来寺子屋**  
**「コトを起こす①」**  
 8/24(土)午前 9:30～  
 トライアルチームづくり

**第4回 未来寺子屋**  
**「コトを起こす②」**  
 9/28(土)午前 9:30～  
 具体的な行動計画の作成

**安城市教育委員会 文化振興課 (歴史博物館内)**  
 ☎ 0566-77-4477  
 ✉ bunkazai@city.anjo.lg.jp